

かわら版

最上小国川流水型ダム

平成29年特別号

定礎式特集号

平成29年6月23日発行

【発行元：前田・飛鳥・大場JV】

6月13日(火)に山形県主催による、定礎式が開催されました。

今回のかわら版は定礎式についてまとめた『定礎式特集号』です。



定礎式とは

定礎式とは、建造物の永久堅固と安泰を祈願して、「礎石」をダム本体に埋納する儀式です。「礎石」とは建物の土台となる石のことで、この礎石を定めることを「定礎」といいます。最上小国川流水型ダムに埋納した定礎石は最上町でのみ産出される『最上石』を使用しており、吉村山形県知事により揮毫されました。大きさは完成するダムの100分の1の大きさです。地元の赤倉小学校の児童の皆さんが将来の夢や希望などを描いて下さった、メモリアルストーンも一緒に埋納しました。



定礎石



メモリアルストーン

修祓式

定礎式に先立ち、施工者主催の修祓式を執り行いました。八森山八幡神社の宮司による祝詞奏上に続き、工事関係者が玉串を捧げ、工事の安全を祈願しました。修祓式の前には礎石を運ぶための神輿や式典会場のお清めもして頂きました。



定礎式

定礎式には吉村山形県知事をはじめ、川瀧東北地方整備局長、高橋最上町長、森舟形町長、県議会議員、町議会議員、地元関係者、工事関係者など、たくさんの方々にご出席頂きました。前日までの雨も降り止み、好天のもと式典を執り行うことが出来ました。

吉村県知事の式辞より始まった定礎式は、最上小国川流水型ダム建設促進協議会の会長である高橋最上町長のご挨拶、国土交通省 水管理・国土保全局 泊治水課長ならびに志田山形県議会議長の祝辞へと続きました。



式辞(吉村山形県知事)



式場全景



山形県 最上総合支庁 柴田建設部長より工事の経過についての報告の後、いよいよ定礎の儀へと移ります。まずは、埋納する礎石の搬入です。木遣唄に合わせて、JV中野工事課長の先導によりJV職員が礎石を神輿に乗せて搬入しました。木遣とは、昔、重い材木や大きな石を運ぶ際、士気を鼓舞するための掛け声として歌われていたものです。搬入した礎石を埋納場所に鎮定し、次の儀式へと続きます。



礎石搬入

・齋鎮(いみしずめ)の儀

「工事を進める道をつける」という意味があり、礎石とダムを接合させるモルタルを周りに入れます。

【行い手】: 吉村山形県知事・高橋最上町長・森舟形町長・川瀧東北地方整備局長】



・齋鍰(いみごて)の儀

「つけられた道を均す」という意味があり、投入したモルタルを均一にコテで均し成形します。

【行い手】: 志田山形県議会議長・菅最上町議会議長・八鍬舟形町議会議長・上坂県土整備部長】



・齋槌(いみつち)の儀

「つけられた道を更に強固にする」という意味があり、礎石を木槌で打ち据え、結合をより強固にします。

【行い手】: 石山最上総合支庁長・小原代表取締役会長(前田建設工業(株))・伊藤代表取締役社長(飛鳥建設(株))・大場代表取締役((株)大場組)】



・メモリアルストーン埋納

赤倉小学校の児童の皆さんに描いて頂いたメモリアルストーンを埋納しました。

【赤倉小学校児童7名】



・埋納の儀

コンクリートを打設して礎石を埋納し、ダム本体と一体にします。

【コンクリート放出スイッチ】: 吉村山形県知事・高橋最上町長・森舟形町長】



・くす玉開披

埋納の儀が執り行われた後、くす玉開披が行われました。吉村山形県知事、赤倉小学校児童他により見事にくす玉が開きました。

・万歳三唱

森舟形町長の御発声により万歳三唱が行われ、出席者全員で定礎を祝いました。



くす玉開披

・施工者挨拶

最後に、施工者を代表して小原前田建設工業(株)代表取締役会長より工事の無災害での竣工への決意を表明して頂きました。

定礎式を無事に終え、改めて安全・品質・環境を優先した施工を進めていく決意を固めました。ダム完成に向け、職員一同、より一層努力して参りますので、これからもよろしくお願い致します。



施工者挨拶



万歳三唱

赤倉温泉ダムカレー

「ダムカレー」とは、ごはん、で堰堤、カレーで貯水池を表現し、ダムをモチーフにしたカレーやダムの近隣の飲食店で提供されているカレーです。全国各地のダムに様々なダムカレーがあります。

赤倉温泉町内にある「クラブ食堂」と共同で考案し、最上小国川流水型ダムをモチーフにしたダムカレーを作りました。最上町の特産であるアスパラガスのカレールーを使用しており、きれいなヒスイ色が特徴です。定礎式終了後に開催された祝賀会で、出席者の皆さんに試食して頂きました。



試作品のダムカレー

発注者：山形県最上総合支庁

施工者：前田・飛鳥・大場JV

連絡先：〒999-6105

山形県最上郡最上町大字富澤
字菅ノ平3780-1

TEL 0233-46-3430

FAX 0233-46-3431

ホームページ

<http://mogamiogunigawa-jv.jp/>

安全・品質・環境を優先した作業を行っていきます。ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力、よろしくお願い致します。ご意見、ご感想などがありましたら、気軽にお声を掛けてください。